

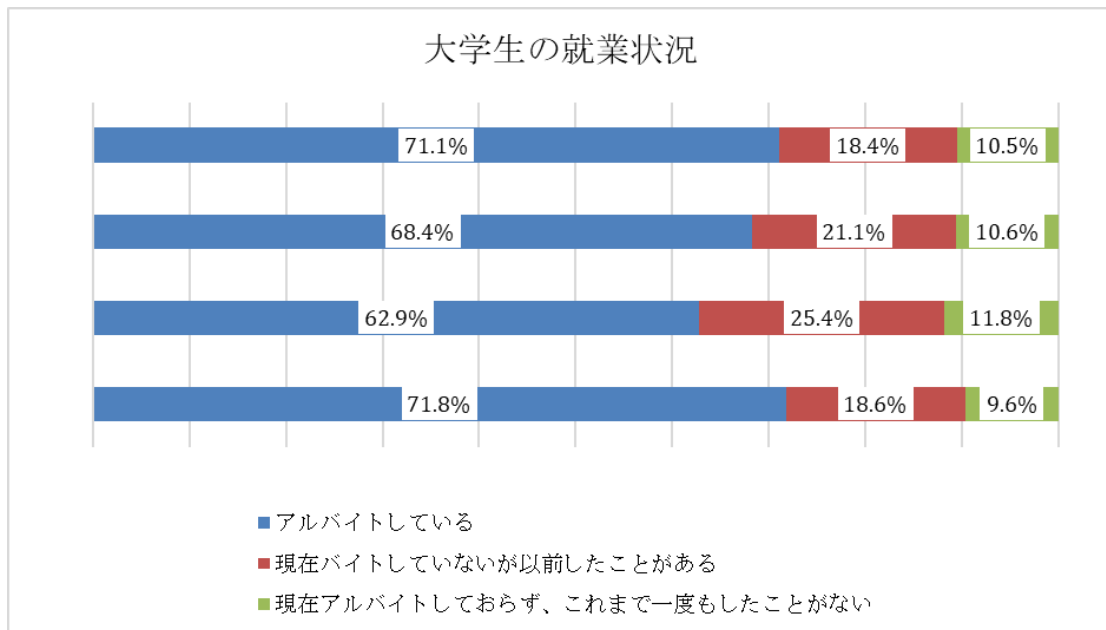
# 大学生におけるアルバイト事情と「押し」活について

コウ ホンイン（文教大学情報学部メディア表現学科）

## 1. 序論

大学生活において学費や生活費、教科書代などさまざまな出費がある。その金銭を家族からの仕送りや奨学金などから支払いすることもあるが、大学生がお金を稼ぐ方法としてアルバイトをすることもある。

株式会社マイナビが2024年4月25日に発表した「大学生のアルバイト調査（2024年）」によると（図表1）、アンケートに回答した1,316名の大学生においてアルバイトしている人の割合は71.1%を占めており、以前アルバイトしたことがあるが現在はしていない人の割合は18.4%や一度もアルバイトしていない人の割合は10.5%となっており、大学生はアルバイトすることがごく普通のことになっていると考えられる。

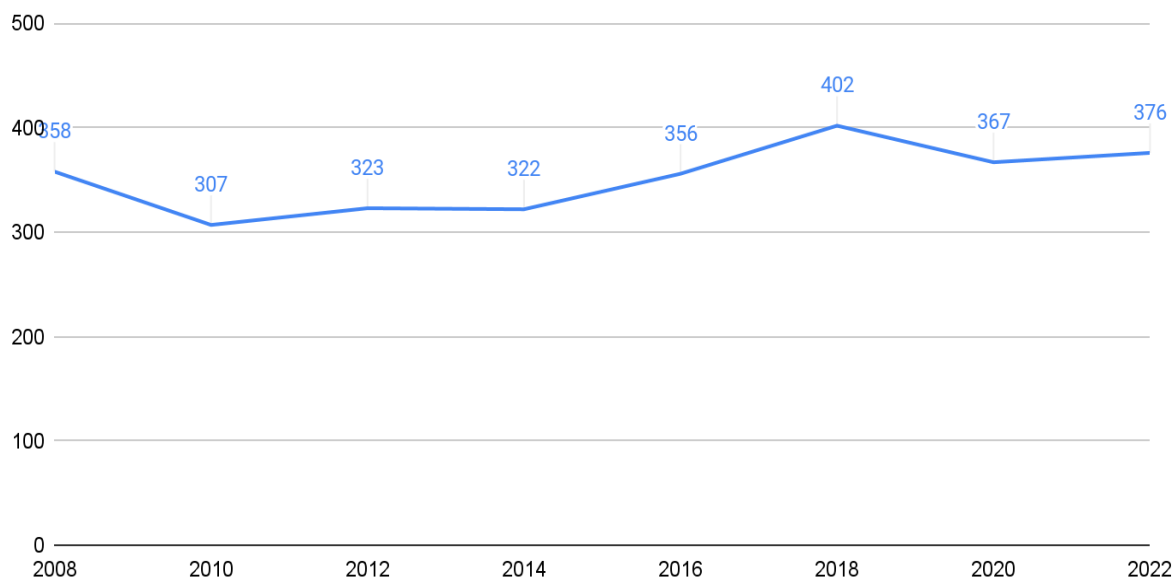


図表1 大学生の就業状況

株式会社マイナビ「大学生のアルバイト調査（2024年）」「大学生の就業状況」より筆者作成

アルバイトする大学生の割合が増える一方、大学生のアルバイト収入は増えている。このグラフを見るとこの10年間で大学生のアルバイトの月収平均は、2020年新型コロナウイルスのパンデミックの時期以外年々増加していることが分かる。

### 大学生のアルバイト平均収入推移



図表2 大学生のアルバイト平均収入推移（単位：千円）

独立行政法人日本学生支援機構（令和4年度学生生活調査・高等専門学校生生活調査・専門学校生生活調査収入額内訳及び収入に閉める内訳の割合の推移（大学（昼間部））より筆者作成

大学生活においてもいろいろな出費があるところに注目できるのが「推し」活であろう。「推し」活は「「推し」」の応援活動による派生語でもある。「推し」（おし）とは、特定の人物やキャラクター、作品、商品などに対して、熱心な支持や愛情を示す行為やその対象を指す言葉である。\*1

「推し」の語源は、「推す」（おす）という動詞から派生し、主に若者を中心に広まったインターネットで利用されている用語である。

「「推し」」が使われ始めたのが90年代ごろ、アイドルユニット「モーニング娘」のファンの間で使われており、世間一般的に「「推し」」という単語が認知され始めたのは2010年アイドルユニット「AKB48 TeamB」が劇場公演で初披露した『チームB推し』とされる。

近年SNSにて流行になっている「推し活」は、2021年流行語大賞にもノミネートされるほど、現在大学生であるZ世代の生活の一部になったといっても過言ではない。

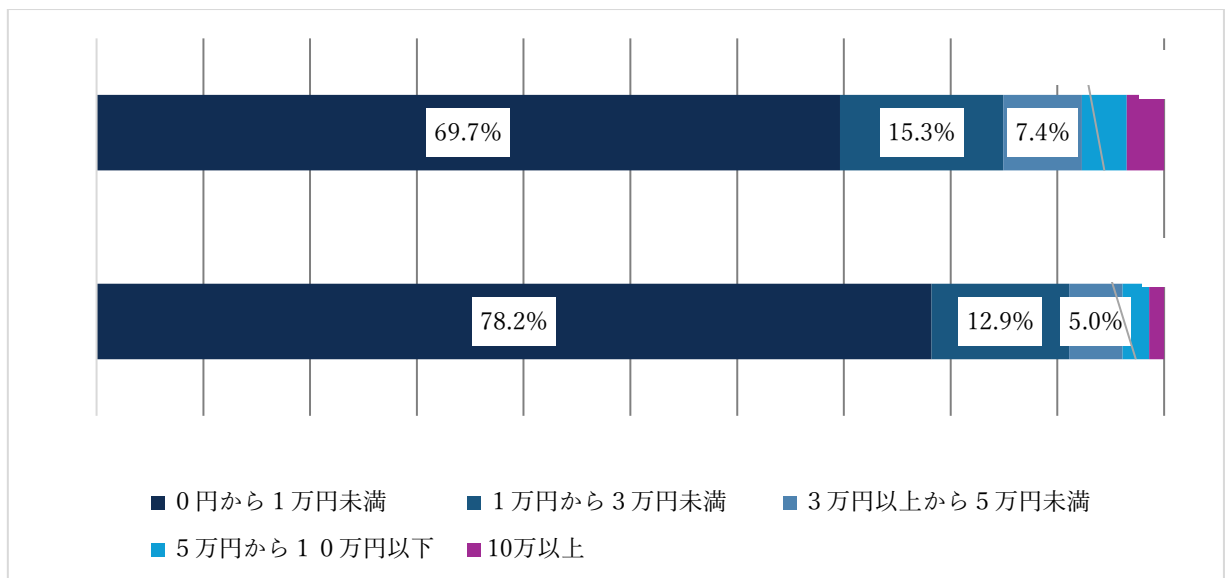
一般社団法人クチコミマーケティング協会（WOMJメソッド委員会）が行った「推し」活についての意識調査によると、学生の間でも「推し」がある人は多く、回答者の全体の8割弱が「推し」がいると回答し、回答者の中、5人中4人は「推し」があることがわかった。

このように「推し」を持っていることから考えられるのは、大学生はどのくらい「推し」に金銭を使っているのかについてである。

大学生が「推し」活をする時に利用する金銭は、アルバイト収入が充てられていると想定するならば、「推し」活をするためにもっとアルバイトを増やしてしまうことが考えられる。

現代ではプラットフォームにて「推し」に対して投げ銭をする「スーパーチャット」というものがあるが、同じ人を応援している他人と比べてしまうことによって「推し」にお金をつぎ込む義務感を感じる人も存在している。それによって投げ銭で使うために水商売や性産業などのアルバイトでお金を稼ぐ人も存在していることから、「推し」活のお金事情をめぐる社会問題も存続している。\*2

そのような中、「推し」活のための出費について株式会社ネオマーケティングが発表した「「推し」活に関する調査 2024」によると、月に「推し」活に費やす金額は、男性の出費が「0円から1万円未満（69.2%）」で、1万円以上から3万円未満が15.9%、3万円以上から5万円未満が8.2%、5万円から10万円が4%、10万円以上が2.6%であった。また、女性の出費が0円から1万円未満78.2%で、1万円以上から3万円未満が12.9%、3万円以上から5万円未満が4.7%、5万円から10万円が1.1%、10万円以上が1.3%であった。



図表3 男女別「推し」活に費やす金額（月平均）

株式会社ネオマーケティング「「推し」活に関する調査」  
「「推し」活に費やしている金額・月平均」より筆者作成

「推し」がいると出費がかかることが多いことから、学生がどのように「推し」活の出費を確保しているのか、そしてそれがアルバイトにどのように影響しているのか。今回、私は、回答者のアルバイト種類と仕事に対する意識、そして収入などアルバイトの事情に

ついて、また、どのような「押し」活」をしているのかについて、「押し」活」での出費についてなど「押し」活」についての状況を調査した。

## 2. 調査研究の方法

### 2-1. 調査概要

本調査の実施概要は以下の通りである。

調査実施期間：2024年7月12日～7月26日、

調査対象：文教大学湘南・あだち・越谷キャンパス在学1～4年生

調査人数：標本数1,330票（内不在63票）有効回答数169票 回答率12.7%

### 2-2. 調査項目

調査項目は大別して、

〈アルバイトに関する項目〉

〈「押し」活に関する項目〉

〈「押し」活の資金に関する項目〉

〈回答者自身に関する項目〉

以上4つによって構成した。以下、主な項目の詳細である。

〈アルバイトに関する項目〉：アルバイトの有無やアルバイトの数、アルバイトの収入の利用方法など。

〈「押し」活に関する項目〉：「押し」の数、「押し」活での行動、「押し」活に関する意識など。

〈「押し」活の資金に関する項目〉：「押し」活で利用する金額や「押し」活でどのような行動にお金を利用するのか、「押し」活の金銭利用に関する意識など。

〈回答者自身に関する項目〉：「学部」や「性別」、「学年」、等の基本的な項目。

### 2-3. 調査方法

調査方法は、層化抽出法を用いて抽出した回答者へのオンライン調査である。Google フォームを利用し、アンケートを作成した。サンプリングで抽出した該当したメールアドレスに調査票の URL を添付し、メールの送信を行った。サンプリング方法は、学部ごとに層化抽出を用いて行った。以下は、学部別の割り当ての詳細である。

キャンパス	学部	学科	学科別学生数	学部学生数	割合	割り当て数
湘南校舎	情報	情報システム	466	1249	78.00%	179
		情報社会	349			
		メディア表現	434			
	健康栄養	管理栄養学科	353	353	22.00%	51
	合計			1602	19.10%	230
東京あだち校舎	経営	経営学科	792	792	40.10%	114
	国際	国際理解学科	591	1183	59.90%	169
		国際観光学科	592			
	合計			1975	23.50%	283
越谷校舎	教育	学校教育	983	1617	33.50%	231
		発達教育	634			
	人間科学	人間科学	637	1811	37.50%	259
		臨床心理	551			
		心理	623			
	文学	日本語日本文学科	537	1399	29.00%	200
		英米語英米文学科	376			
		中国語中国文学科	268			
外国語学科		218				
	合計			4827	57.40%	690
全合計			8404	8404	サンプル数	1203

※2024年4月時点での学籍番号からの推計学生数であり、実際の在 student 数とは異なる。

※卒業年次以降の学生や学籍番号が特殊な留学生は含まれない。

### 3. 調査結果

#### 3-1. 回答者の基本属性

回答者の基本属性について「性別」は【女性】は112名（55.8%）と、【男性】は46名（35.8%）、【その他】は1名（0.1%）という結果になった。「学科」は表のとおりで、全体的な傾向は臨床心理学科や日本語日本文学科など特定の学科で人数がやや多い傾向となっている。

学部	学科	度数（人）	割合
教育学部	学校教育課程	13	7.7%
	発達教育課程	13	7.7%
人間科学部	人間科学科	9	5.3%
	臨床心理学科	24	14.2%
	心理学科	17	10.1%
文学部	日本語日本文学科	19	11.2%
	英米語英米文学科	6	3.6%
	中国語中国文学科	5	3.0%
	外国語学科	5	3.0%
情報学部	情報システム学科	6	3.6%
	情報社会学科	8	4.7%
	メディア表現学科	7	4.1%
健康栄養学部	管理栄養学科	5	3.0%
国際学部	国際理解学科	14	8.3%
	国際観光学科	13	7.7%
経営学部	経営学科	5	3.0%

#### 3-2. アルバイトに関する項目

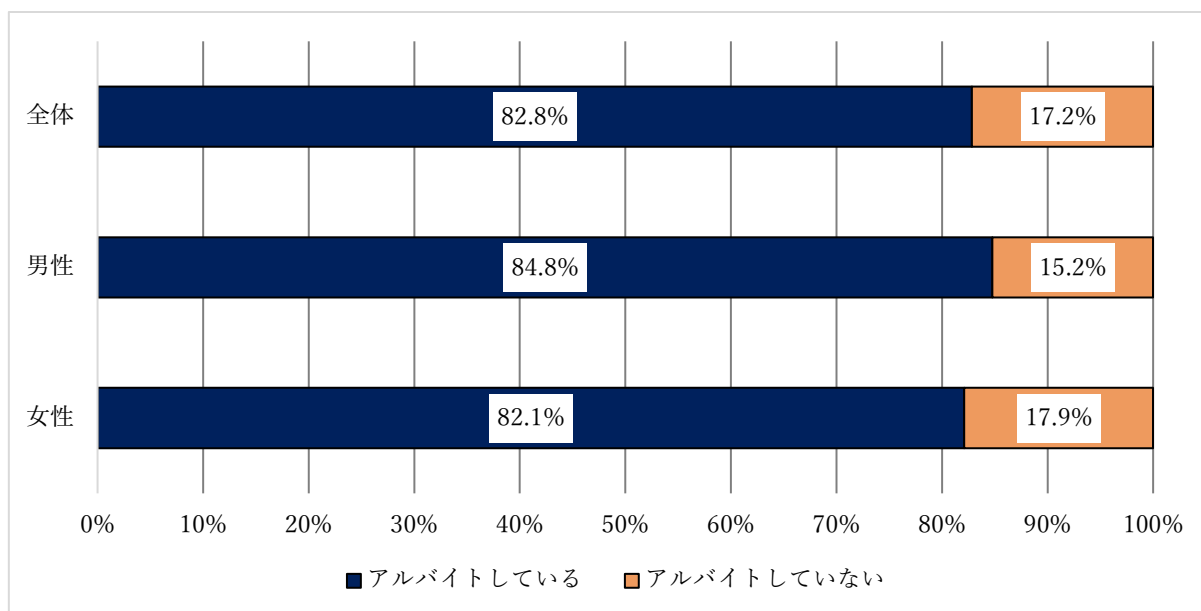
##### 3-2-1. アルバイトの基本情報について

###### 3-2-1-1. アルバイトの有無

現在のアルバイト状況について問う質問では【アルバイトしている】は140人（82.8%）、【アルバイトしていない】は29人（17.2%）という結果になった。序論にあっ

た、マイナビの調査よりも、文教大学での調査のほうが、アルバイトをしている学生の割合が高いという結果になった。

男女比較しても、アルバイトしている回答が多い傾向にあるが、女性のアルバイトしていない回答は約17%と男性よりも多い。



図表4 男女別のアルバイトの有無

### 3-2-1-2. アルバイト始めた時期

アルバイトを始めた時期について問う質問では、男性の始めた時期として【高校生】は11人(28.2%)、【大学生】は28人(71.8%)。女性の始めた時期として【高校生】は37人(36.6%)、【大学生】は64人(63.4%)という結果になった。

男女とも大学生からアルバイトを始めた回答が多い割合となっている。

### 3-3-1-3. アルバイトの種類

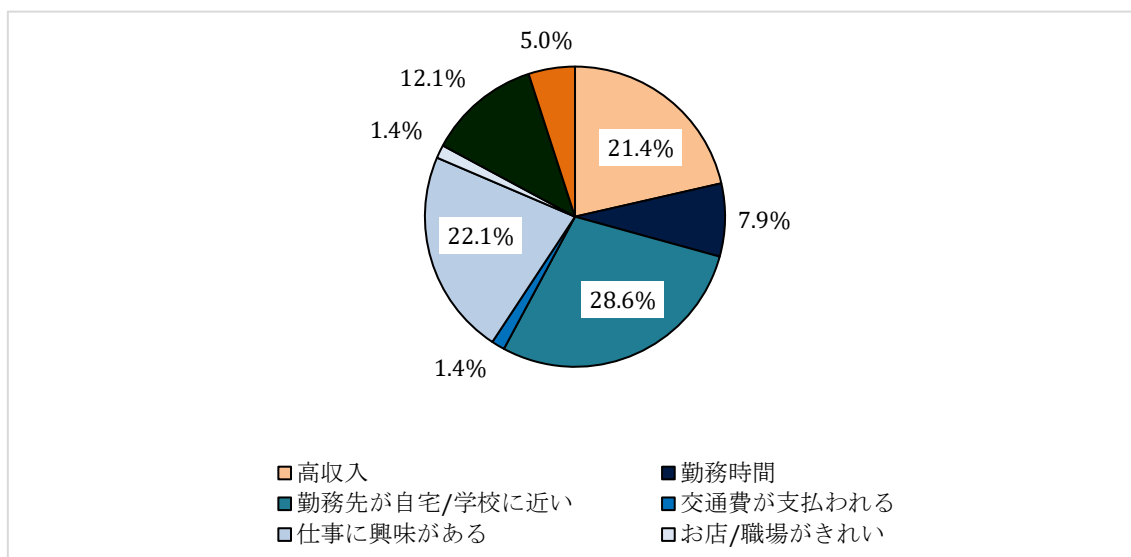
アルバイトの種類について複数回答で問う質問では、【その他の飲食店】は34人(19.9%)、【学習塾(個別・集団)】は27人(15.8%)、【その他販売店】は24人(14.0%)、【その他】は20人(11.7%)、【居酒屋】は10人(5.8%)、【ファーストフード】は9人(5.3%)、【コンビニエンスストア】は8人(4.7%)、【スーパーマーケット】は8人(4.7%)、【ファミリーレストラン】は7人(4.1%)、【学童保育】は6人(3.5%)、【イベントスタッフ】は6人(3.5%)、【その他販売店】は4人(2.3%)、【ホテル・旅館】は4人(2.3%)、【警備】は2人(1.2%)、【医療機関(福祉施設含)】は1人(0.6%)、【その他製造業】は1人(0.6%)、という結果になった。アルバイトの種類の種類傾向とし様々な種類はあるが、飲食店が多い傾向になっている。

### 3-2-1-4. アルバイトの頻度

アルバイトの頻度について問う質問では、【週2日から3日】は97人(69.3%)、【週4日から5日】は25人(17.9%)、【週1日】は11人(7.9%)、【月2日から3日】は4人(2.9%)、【週6日から7日】は3人(2.1%)という結果になった。アルバイトの頻度は【週2日から3日】が多かった。ことから、学校生活の妨げにならない頻度でアルバイトをしていることがわかった。

### 3-2-1-5. アルバイトを選ぶ条件

アルバイトを選ぶ最も重要な条件について問う質問では、【高収入】は30人(21.4%)、【勤務時間】は11人(7.9%)、【勤務先が自宅/学校に近い】は40人(28.6%)、【交通費が支払われる】は2人(1.4%)、【仕事に興味がある】は31人(22.1%)、【お店/職場がきれい】は2人(1.4%)、【雰囲気】は17人(12.1%)、【自分でもできる仕事である】は7人(5%)という【勤務先が自宅/学校に近い】が最も多い回答だった。



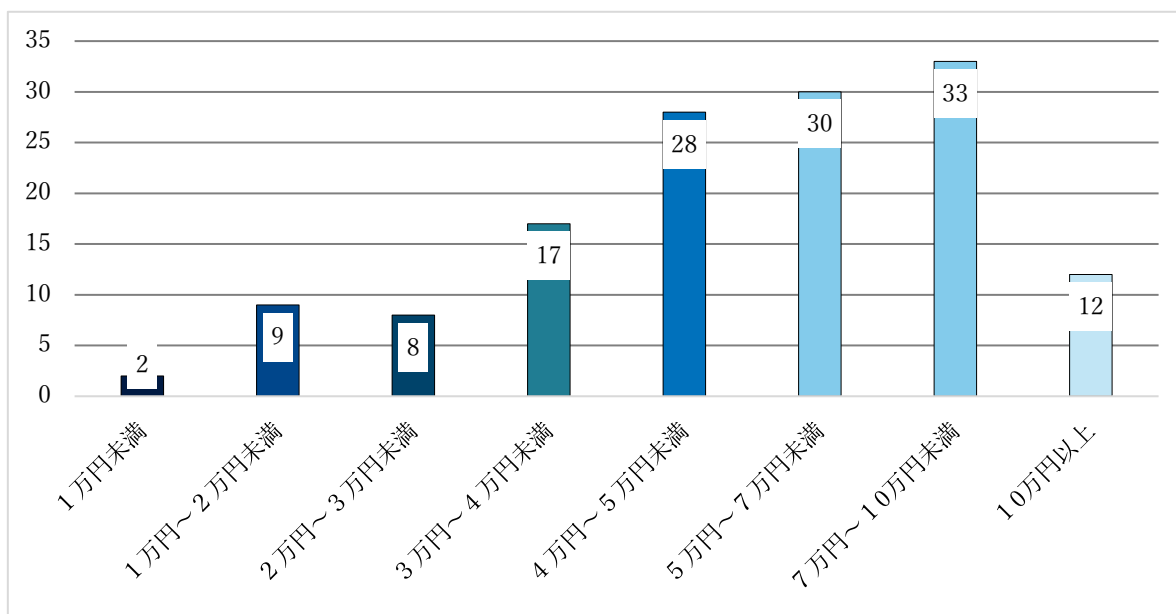
図表5 アルバイトの選択最も重要な条件



### 3-2-2. アルバイトの収入について

#### 3-2-2-1. アルバイトの収入の金額

アルバイトの月収について問う質問では、【7-10万円】が33名(23.7%)と多く、以下、【5-7万円】(30名、21.6%)、【4-5万円】(28名、20.1%)など、5万から10万円以上の回答は過半数を占めている。



図表6 アルバイトの月収

#### 3-2-2-2. アルバイトの収入での利用方法

アルバイトでの収入の利用方法について複数回答を問う質問では、【趣味】は117人(31.1%)、【生活費】は89人(23.7%)、【貯蓄】は70人(18.6%)、【交際費】は67人(17.8%)、【学費】は13人(3.5%)、【サークル活動費】は13人(3.5%)、【高額商品】は5人(1.3%)、【投資】は2人(0.5%)という結果になった。収入の使い道は趣味や生活費など自分の生活に関連するものが主な使い道という結果になった。

### 3-3. 「推し」活について項目

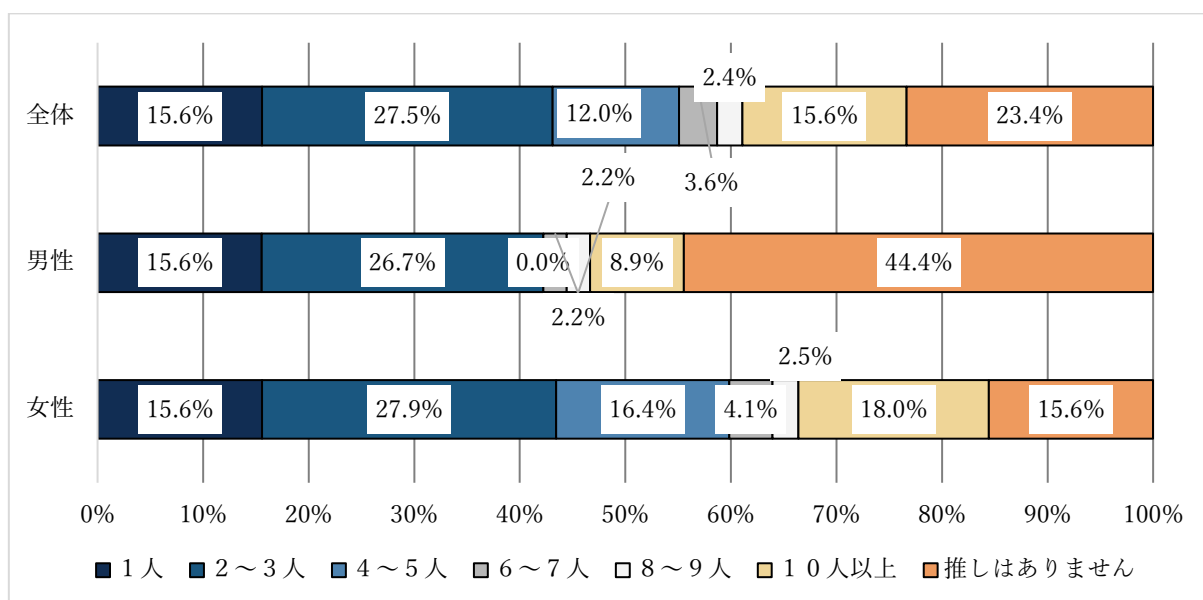
#### 3-3-1. 「推し」活について

##### 3-3-1-1. 「推し」の有無と「推し」の数

「推し」の数に関して問う質問では、男性の【「推し」がいる】は25人(55.6%)、女性の【「推し」がいる】は103人(84.4%)という結果になった。男性の「推し」の数の割合として【1人】は7人(15.6%)、【2～3人】は12人(26.7%)、【6～7人】は1人(2.2%)、【8～9人】は1人(2.2%)、【10人以上】は4人(8.9%)という結果になった。

女性の「推し」の数の割合として【1人】は19人(15.6%)、【2～3人】は34人(27.9%)、【4～5人】は20人(16.4%)、【6～7人】は5人(4.1%)、【8～9人】は3人(2.5%)、【10人以上】は22人(18%)という結果になった。

「推し」がいる回答が76%を占めていることから、序論に記載されている「推し」の有無に関しての先行研究と同じく回答者の5人中4人は「推し」がいることがわかった。



図表7 男女別「推し」の数

### 3-3-1-2. 「推し」の属性

「推し」の属性について複数回答で問う質問では、回答が最も多かった5つの選択肢として【アニメ、マンガキャラクター】は45人(18.5%)、【日本国内のアイドル(男性)】は29人(11.9%)、【VTuber】は26人(10.7%)、【K-POPアイドル(男性)】は25人(10.3%)、【歌手】は22人(9.1%)、という結果になった。

「「推し」がいる」と回答したのは、女性の割合が多いこともあって男性アイドルが「推し」である回答が多かったことが見受けられる。そして、近年インターネット上でも話題になっているVTuber(バーチャルユーチューバー)の「推し」がいると回答している人も多いことがわかった。

回答者の合計：男性46名 女性112名

	男性	女性	合計
アニメ、マンガキャラクター	9(20.0%)	36(80.0%)	45(100%)
YouTuber	3(20.0%)	12(80.0%)	15(100%)
VTuber	7(26.9%)	19(73.1%)	26(100%)
日本国内のアイドル(男性)	1(3.4%)	28(96.6%)	29(100%)
日本国内のアイドル(女性)	2(10.5%)	17(89.9%)	19(100%)
K-POPアイドル(男性)	0(0%)	25(100%)	25(100%)
K-POPアイドル(女性)	1(6.3%)	15(93.8%)	16(100%)
歌手	5(22.7%)	17(77.3%)	22(100%)
俳優、タレント	1(5.6%)	17(94.4%)	18(100%)
声優	2(15.4%)	11(84.6%)	13(100%)
コスプレイヤー	0(0%)	2(100%)	2(100%)
マスコットキャラクター	0(0%)	4(100%)	4(100%)
お笑い芸人	0(0%)	4(100%)	4(100%)
歴史的人物	1(50%)	1(50%)	2(100%)
モデル	0(0%)	3(100%)	3(100%)

図表8 「推し」の属性

### 3-3-1-3. 「推し」活を始めた時期

「推し」活を始めた時期について問う質問では、【13歳～15歳ころから】は50人(38.2%)、【16歳～18歳ころから】は38人(29%)、【12歳以前から】は35人(26.7%)、【19歳～22歳ころから】は8人(6.1%)という結果になった。

中学生のころから推し活を始めている人が最も多い。現代では様々なメディアから「推し」を見つけることが容易になっているところもあって、スマートフォンを利用し始める中学生の頃から「推し」活を始めることが見受けられる。

### 3-3-1-4. 「推し」活の行動

「推し」活での行動について複数回答で問う質問では、最も多かった回答として【グッズ購入】の107人、【ライブ動画を視聴する】の102人、【直接「推し」に会いに行く】の73人【コラボイベントに行く】59人、【普段から「推し」のグッズを身につける】の54人という結果になった。

最も多い回答はグッズ購入である。「推し」活の行動においてグッズ購入が最も簡単に「推し」活ができるし、コロナウイルス流行していた時はスマートフォンを使って動画などを視聴することが多かった影響もあって、現在でも動画視聴で「推し」活をする方が多いと考えられる、加えてSNSでの交流が容易となり、交流がきっかけで「推し」活の行動促進されると考えられる

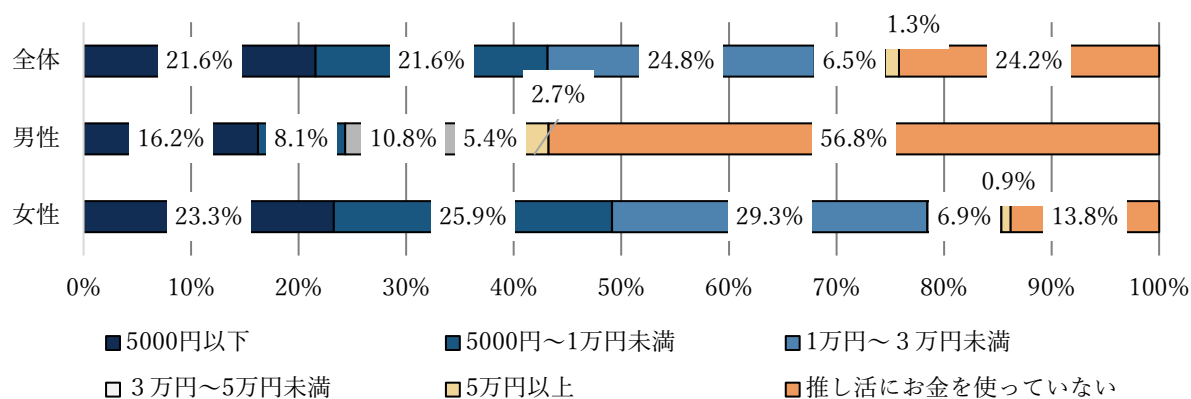
### 3-3-2. 「推し」活の金銭利用についての項目

#### 3-3-2-1. 1ヶ月「推し」活の利用金額

1ヶ月間「推し」活で利用金額について問う質問では、【5千円未満】は33人(21.6%)、【5千円～1万円未満】は33人(21.6%)、【1万円～3万円未満】は39人(24.8%)、【3万円～5万円未満】10人(6.5%)、【5万円以上】は2人(1.3%)、【「推し」活でお金使っていない】は38人(24.2%)の回答になった。

最も多い回答は、【1万円～3万円未満】だった。

こちらの回答では先行研究のグラフを参考し、男女別で分析した結果は表の通り、男性は「推し」活にお金を使わない回答が多かった。



図表9 男女別「推し」活の利用金額

#### 3-3-2-2. 「推し」活の出費

「推し」活でどのようにお金を利用しているのかについて複数回答で問う質問では、【ゲーム購入】は93人、【課金】は15人、【スーパーチャット】は2人、【CD購入】は61人、【ファンクラブ】は51人、【チケット代】は77人、【本、雑誌】は45人、【遠征費用】は34人、【プレゼント代】は3人、【コスプレ衣装代】は2人、【お金使っていない】は26人という結果になった。

最も多い回答はゲーム購入だった。近年ではスマートフォンなどでのスーパーチャットや課金などの方法で「推し」活の出費することも多いが、グッズやCDのようなものを買入することが「推し」活の出費を多く占めていることがわかった。

回答者の合計：男性 46 名 女性 112 名

	男性	女性	合計
ゲーム購入	12(12.9%)	81 (87.1%)	93 (100%)
課金	4 (26.7%)	11 (73.3%)	15 (100%)
スーパーチャット	0 (0%)	2 (100%)	2 (100%)
CD 購入	3 (4.9%)	58 (95.1%)	61 (100%)
ファンクラブ	2 (3.9%)	49 (96.1%)	51 (100%)
チケット代	4 (5.2%)	73 (94.8%)	77 (100%)
本、雑誌	4 (8.9%)	41 (91.1%)	45 (100%)
遠征費用	4 (11.8%)	30 (88.2%)	34 (100%)
プレゼント代	1(33.3%)	2 (66.7%)	3 (100%)
コスプレ衣装代	0 (100%)	2 (100%)	2 (100%)
お金使っていない	11 (42.3%)	15 (57.7%)	26 (100%)

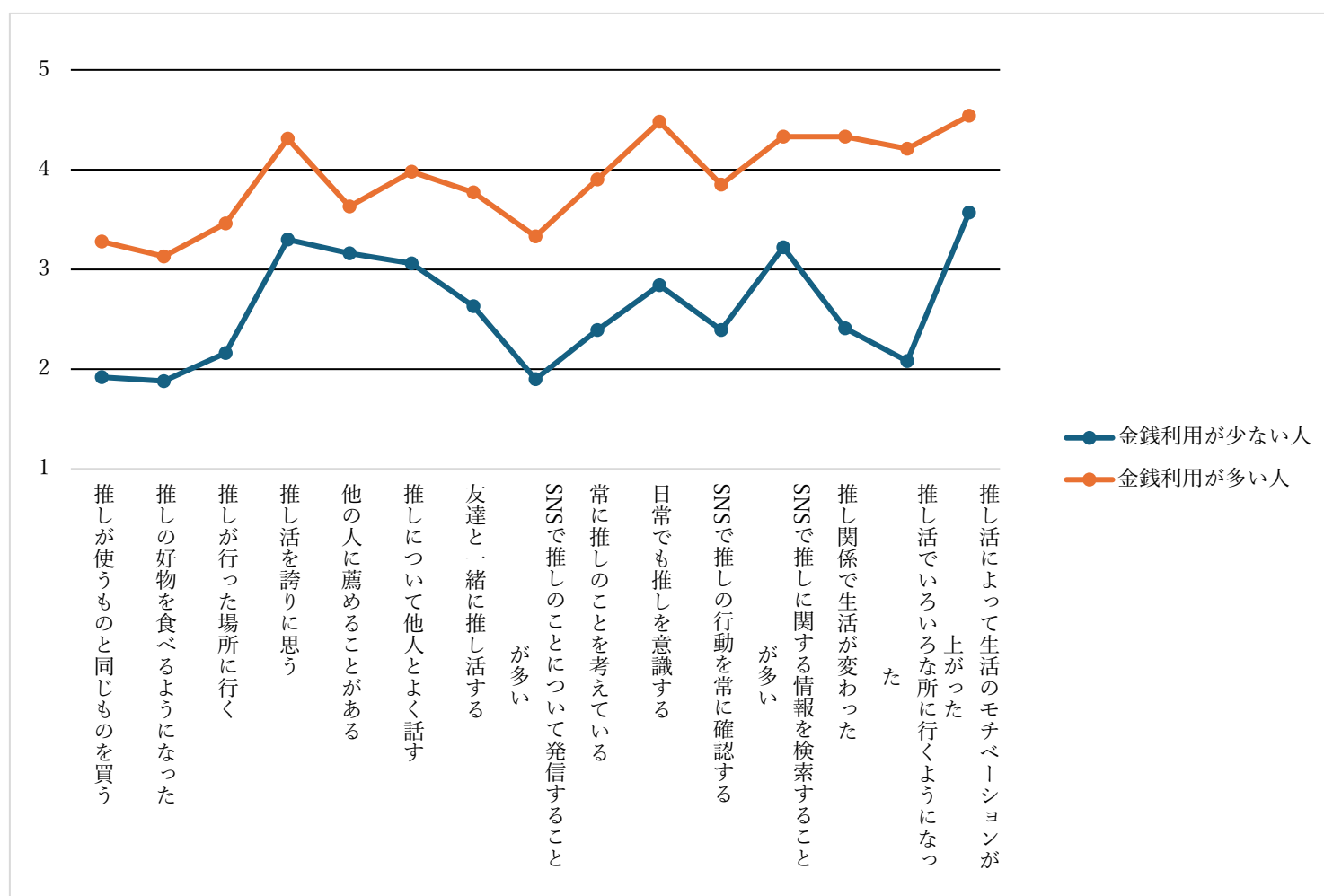
図表 10 「推し」活のお金の利用方法

### 3-4. 「推し」活に関連する分析

#### 3-4-1. 「推し」活における行動と金銭利用の多少の関係性

金銭利用が多い人と少ない人2つのグループにて「推し」活での行動の違いを分析した。グループ分けについては金銭利用に関する質問において5段階の質問の平均点からグループ分けを行った。2つのグループにて行動への意識について調査した結果は下記の通りである。

図表 11 「推し」活の行動意識と金銭利用の多少の関係



2つのグループの間では大きな差があることがわかった。結果から金銭利用が多い人ほど「推し」活に対して積極的な考えを持ち、逆に少ない人は「推し」活に対して消極的な考えを持っていることがわかった。

	金銭利用が少 ない人平均	金銭利用が多 い人平均	t	自由度	有意確率
推しを使うものと同じものを買う	1.92	3.28	-5.33	95	<.01
推しの好物を食べるようになった	1.88	3.13	-4.504	97	<.01
推しが行った場所に行く	2.16	3.46	-4.796	97	<.01
推し活を誇りに思う	3.3	4.31	-4.137	96	<.01
他の人に薦めることがある	3.16	3.63	-1.738	97	N.S.
推しについて他人とよく話す	3.06	3.98	-3.666	96	<.01
友達と一緒に推し活する	2.63	3.77	-4.101	97	<.01
SNSで推しのことについて発信するこ とが多い	1.9	3.33	-4.847	97	<.01
常に推しのことを考えている	2.39	3.9	-6.081	97	<.01
日常でも推しを意識する	2.84	4.48	-7.547	97	<.01
SNSで推しの行動を常に確認する	2.39	3.85	-5.883	97	<.01
SNSで推しに関する情報を検索するこ とが多い	3.22	4.33	-4.605	97	<.01
推し関係で生活が変わった	2.41	4.33	-8.555	97	<.01
推し活でいろいろな所に行くようにな った	2.08	4.21	-9.025	97	<.01
推し活によって生活のモチベーション が上がった	3.57	4.54	-4.272	97	<.01

「推し」活の行動意識と金銭利用の多少の関係の有意差検定の結果

### 3-5. 「推し」活の行動意識における男女の違い

調査においては「推し」活とアルバイトについての調査であるが、その中でも「推し」活での行動では男女における意識の違いによりアルバイトへの意識も違うと考えられる。よって今回は行動に関しての質問を5段階評価で分析を行った。回答点数に関しては注記の通りである<sup>1</sup>

#### 3-5-1. 「推し」活に対する考えについての男女の違い

「推し」の行動に関しての質問においては5段階での質問を行った、そして男女別での回答の平均値を分析した、結果は下記の通りである。

<sup>1</sup>

当てはまらない(1)

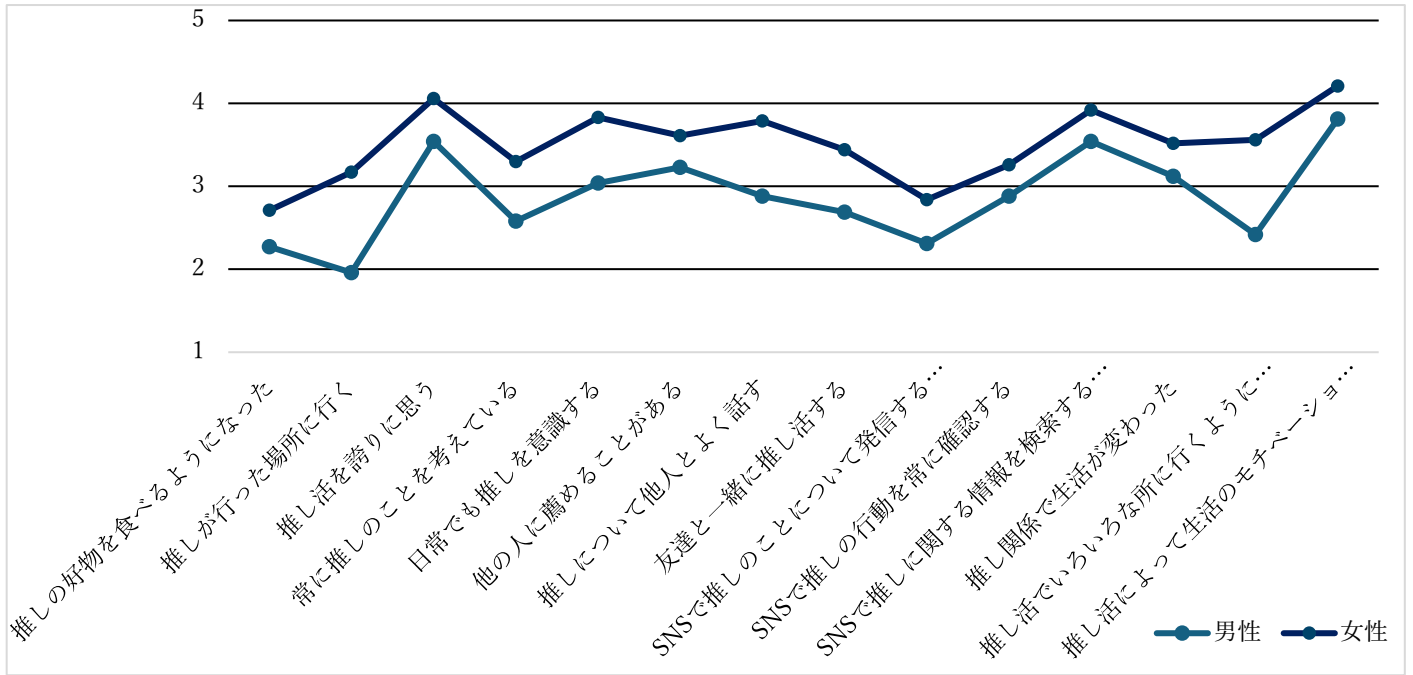
あまり当てはまらない(2)

どちらかでもない(3)

少し当てはまる(4)

当てはまる(5)

図表 12 「推し」活の考えにおける男女の違い



	男性平均	女性平均	t	自由度	有意確率
推しの好物を食べるようになった	2.27	2.71	-1.329	130	N.S.
推しが行った場所に行く	1.96	3.17	-3.89	130	<.01
推し活を誇りに思う	3.54	4.06	-1.961	129	<.05
常に推しのことを考えている	2.58	3.3	-2.424	130	<.01
日常でも推しを意識する	3.04	3.83	-2.917	130	<.01
他の人に薦めることがある	3.23	3.61	-1.309	130	N.S.
推しについて他人とよく話す	2.88	3.79	-3.381	129	<.01
友達と一緒に推し活する	2.69	3.44	-2.357	130	<.01
SNSで推しのことについて発信することが多い	2.31	2.84	-1.499	130	N.S.
SNSで推しの行動を常に確認する	2.88	3.26	-1.284	130	N.S.
SNSで推しに関する情報を検索することが多い	3.54	3.92	-1.409	130	N.S.
推し関係で生活が変わった	3.12	3.52	-1.301	130	N.S.
推し活でいろいろな所に行くようになった	2.42	3.56	-3.631	130	<.01
推し活によって生活のモチベーションが上がった	3.81	4.21	-1.629	130	N.S.

「推し」活の考えにおける男女の違いの有意差検定の結果

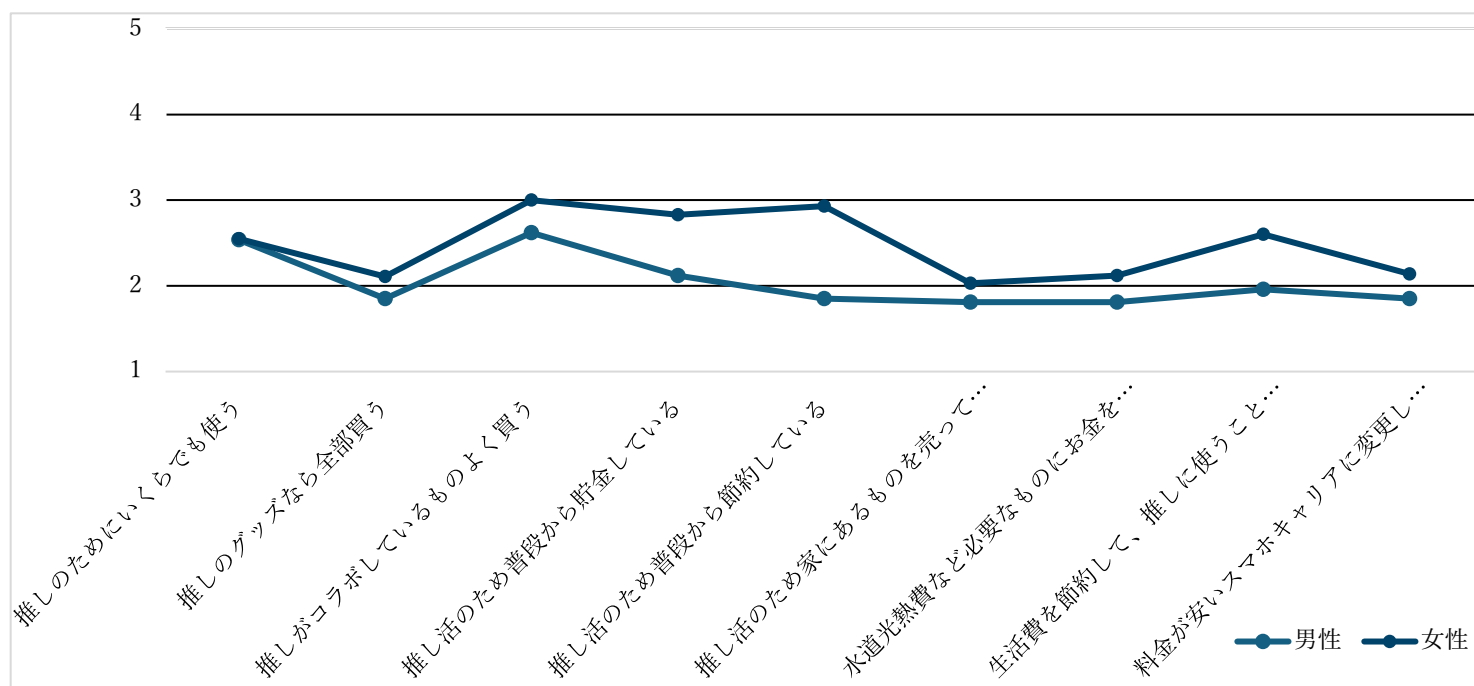


表の通り、女性の点数の平均値は各項目においても男性より高いことがわかった、特に「推し」活を誇りの考えや生活のモチベーションこの二つが最も高いことがわかった、特に「推し」活において色々な場所へ行くということに関して女性は男性と比べて高いことから、女性は「推し」活がきっかけで様々な場所に行くことが多いが男性はそこまで当てはまらないことがわかった。

### 3-5-2.「推し」活における金銭利用についての男女の違い

「推し」活における金銭利用への意識についての質問においては5段階での質問を行った。そして男女別での回答の平均値を分析した結果は下記の通りである。

図表 13 「推し」活における金銭利用についての男女の違い



	男性平均	女性平均	t	自由度	有意確率
推しのためにいくらかでも使う	2.54	2.55	-0.045	131	N.S.
推しのグッズなら全部買う	1.85	2.11	-0.98	131	N.S.
推しがコラボしているものよく買う	2.62	3	-1.278	131	N.S.
推し活のため普段から貯金している	2.12	2.83	-2.318	131	<.01
推し活のため普段から節約している	1.85	2.93	-3.471	131	<.01
推し活のため家にあるものを売ってもいい	1.81	2.03	-0.746	131	N.S.
水道光熱費など必要なものにお金を使わないで、推しに回したいと感じたことがある	1.81	2.12	-1.004	131	N.S.
生活費を節約して、推しに使うことに抵抗がない	1.96	2.6	-1.909	131	<.05
料金が安いスマホキャリアに変更したい	1.85	2.14	-0.981	131	N.S.

「推し」活における金銭利用についての男女の違いの有意差検定の結果

表の通り、女性は「推し」活による金銭利用への意識比較的に意識していることがわかった、特に普段節約のところでは男性と女性にかなりの差が見られる。女性は「推し」活によって自分自身の生活より「推し」活を優先することで、「推し」活のためでも節約することと考えられる。その他の回答においては男性と女性の回答の平均値にはあまり差は見られなかった

### 3-6. 推し活に関連する因子分析

#### 3-6-1. 推し活における行動の因子分析

推し活で見受けられる行動 15 項目を 5 段階評価で。出力された結果がどのような因子に分けられるか、バリマックス回転を用いて因子分析を行った。その結果、図表 00 のように 3 つの因子に分類することができた。

	自分の行動	他人に対する行動	普段の行動への意識	平均値
推しが使うものと同じものを買う	0.858	0.113	0.243	2.77
推しの好物を食べるようになった	0.604	0.257	0.307	2.62
推しが行った場所に行く	0.757	0.319	0.23	2.93
推し活を誇りに思う	0.167	0.561	0.509	3.95
他の人に薦めることがある	0.026	0.788	0.043	3.54
推しについて他人とよく話す	0.256	0.769	0.228	3.62
友達と一緒に推し活する	0.406	0.701	0.095	3.3
SNSで推しのことについて発信することが多い	0.114	0.521	0.419	2.73
常に推しのことを考えている	0.342	0.138	0.718	3.16
日常でも推しを意識する	0.284	0.243	0.765	3.67
SNSで推しの行動を常に確認する	0.389	0.016	0.681	3.19
SNSで推しに関する情報を検索することが多い	0.311	0.047	0.584	3.85
推し関係で生活が変わった	0.013	0.213	0.784	3.44
推し活でいろいろな所に行くようになった	0.309	0.47	0.497	3.33
推し活によって生活のモチベーションが上がった	0.113	0.339	0.661	4.13
寄与率	16.671	19.546	26.047	
累積寄与率	62.264	46.593	26.047	
固有値	2.501	2.932	3.907	

図表 14 推し活の行動の因子分析

第一因子『普段の行動』には「推しが使うものと同じものを買う」「推しの好物を食べるようになった」「推しが行った場所に行く」といった自身が行う行動が含まれているため『普段の行動』と名付けた。

第二因子『他人に対する行動』には「推し活を誇りに思う」「他の人に薦めることがある」「推しについて他人とよく話す」「友達と一緒に推し活する」「SNSで推しのことに

ついて発信することが多い」といった他人に対して行う行動が含まれているため、『他人に対する行動』と名付けた。

第三因子『行動の意識』には「常に推しのことを考えている」「日常でも推しを意識する」「SNSで推しの行動を常に確認する」「SNSで推しに関する情報を検索することが多い」「推し関係で生活が変わった」「推し活でいろいろな所に行くようになった」「推し活によって生活のモチベーションが上がった」といった推し活による普段の日常行動への意識の変化を含めているため、『行動の意識』と名付けた。

推し活の行動においては自分の行動だけではなく、他人の考えに影響を与えることができる行動、そして自分自身の行動の意識の変化も推し活においての金銭利用に影響を与えると考えられる。

#### 4. 仮説の検証

本調査では、大学生の「アルバイト事情」と「推し」活」についての調査を目的とした。具体的な調査としてアルバイトの頻度がどのように「推し」活に影響するのか、アルバイト始める時期などにより「推し」活の行動の変化について明らかにすることである。したがって、今回の調査における仮説としては下記の通りとなる。

1. 「推し」に多くのお金を使うためアルバイト多く行い、収入が増え、そこから「推し」へもっと多くのお金を使うようになること
2. 女性は「推し」の数が多いほどアルバイトしている
3. 「推し」の数が増えれば「推し」活の利用金額が増える
4. 「推し」活を中学生頃から行っている人は、それを意識して高校生からアルバイトを始めている

##### 4-1-1. 仮説1の検証

「「推し」に多くのお金を使うためアルバイト多く行い、収入が増え、そこから「推し」へもっと多くのお金を使うようになること」という仮説について、アルバイトの頻度の頻度と一ヶ月間「推し」活利用金額についてカイ2乗検定を行った。その結果有意な差が得られなかった ( $\chi^2(20)=.375, n.s$ )。

一ヶ月間「推し」活利用金額							
アルバイトの頻度		5千円未満	5千円～1万円未満	1万円～3万円未満	3万円～5万円未満	5万円以上	合計
	週6-7日	0 (0.00%)	1 (50.00%)	1 (50.00%)	0 (0.00%)	0 (0.00%)	2 (100.00%)
	週4-5日	5 (26.32%)	11 (57.89%)	1 (5.26%)	1 (5.26%)	1 (5.26%)	19 (100.00%)
	週2-3日	17 (24.64%)	15 (21.74%)	27 (39.13%)	9 (13.04%)	1 (1.45%)	69 (100.00%)
	週1日	1 (16.67%)	2 (33.33%)	3 (50.00%)	0 (0.00%)	0 (0.00%)	6 (100.00%)
	月2-3日	1 (25.00%)	1 (25.00%)	2 (50.00%)	0 (0.00%)	0 (0.00%)	4 (100.00%)
	合計	24 (24.00)	30 (30.00%)	34 (34.00%)	10 (10.00%)	2 (2.00%)	100 (100.00%)

図表 15 アルバイトの頻度と一ヶ月間「推し」活利用金額のクロス集計表

#### 4-1-2. 仮説2の検証

#### 4-1-3. 仮説3の検証

「「推し」の数の影響により利用金額が増える」という仮説について、「推し」の数と1ヶ月「推し」活での利用金額についてカイ2乗検定を行った。そという結果、「推し」の数と1ヶ月「推し」活での利用金額に有意な差が得られた ( $\chi^2(30) < 0.01$ ,  $p < 0.001$ )。

つまり、「推し」が多いほど、「推し」活ではお金をたくさん使うこととなります。表の通り、「推し」の数が1人の場合は5千円未満の回答が多い一方、「推し」の数が複数になると、5千円～1万円未満（15人、32.60%）や1万円～3万円未満（15人、32.60%）が多くなっており、4～5人や6～7人からは5万円以上の商品額が見受けられる。一方、一方、10人以上ではさまざまなケースがあるようだが、やはり多いのは1-3万円（33人、21.40%）である。

ここから、おおむね「推し」が複数いる場合は、消費額が1万円～3万円程度になる傾向が分かる。「推し」の数と金額に関連があることが明確に分かる。

この現象に関しては箱推しと呼ばれるグループ全体が「推し」である回答者はグループ全員のグッズを購入することにあると考えられる。

「推し」の数	一ヶ月の「推し」活での利用金額							
		5千円未満	5千円～1万円未満	1万円～3万円未満	3万円～5万円未満	5万円以上	「推し」活でお金使っていない	合計
	1人	11 (42.30%)	4 (15.40%)	6 (23.30%)	2 (7.70%)	0 (0.00%)	3 (11.50%)	26 (100.00%)
	2～3人	9 (19.60%)	15 (32.60%)	15 (32.60%)	1 (2.20%)	1 (2.20%)	5 (10.90%)	46 (100.00%)
	4～5人	5 (25.00%)	3 (15.00%)	7 (35.00%)	3 (15.00%)	1 (5.00%)	1 (5.00%)	20 (100.00%)
	6～7人	3 (50.00%)	0 (0.00%)	3 (50.00%)	0 (0.00%)	0 (0.00%)	0 (0.00%)	6 (100.00%)
	8～9人	0 (0.00%)	2 (50.00%)	2 (50.00%)	0 (0.00%)	0 (0.00%)	0 (0.00%)	4 (100.00%)
	10人以上	3 (11.50%)	9 (34.60%)	6 (23.30%)	4 (15.40%)	0 (0.00%)	4 (15.40%)	26 (100.00%)
	合計	33 (21.40%)	33 (21.40%)	39 (25.30%)	10 (6.50%)	2 (1.30%)	37 (24.00%)	154 (100.00%)

図表 16 「推し」の数と一ヶ月の「推し」活での利用金額のクロス集計表

上記の表を利用金額では【5千円未満】と【5千円～1万円未満】を多いとし、【3万円～5万円未満】【5万円以上】を少ないとする。そして「推しの数」では1人と複数とする。その結果は下記の通りである。

	多い	1万円～3万円未満	少ない
1人	2	6	15
複数	10	33	49

#### 4-1-4. 仮説4の検証

「「推し」活を中学生頃から行っている人は、それを意識して高校生からアルバイトを始めている」という仮説について、「推し」活始める時期とバイト始める時期についてカイ2乗検定を行った。そという結果、「推し」活始める時期とバイト始める時期に有意な差は得られなかった ( $\chi^2(3)=0.951, n.s$ )。

	アルバイト始めた時期			
	高校生	大学生	合計	
「推し」 活始めた 時期	12歳以前から	9 (31.00%)	20 (69.00%)	29 (100.00%)
	13歳～15歳 ころから	16 (36.40%)	28 (63.60%)	44 (100.00%)
	16歳～18歳 ころから	10 (32.30%)	21 (67.70%)	31 (100.00%)
	19歳～22歳 ころから	2 (40.00%)	3 (60.00%)	5 (100.00%)
	合計	37 (33.90%)	72 (66.10%)	109 (100.00%)

図表 17 「推し」活始めた時期とアルバイト始めた時期のクロス集計表

## 5. まとめ

本調査では、大学生のアルバイト事情と「推し活」への意識や行動による双方の影響について調査した。「推し」活が普通となった現在において、「推し」活によって私たちの日常に影響を与えることもあるが、同じく「推し」活をしている友達を知り、イベントなどに参加して「推し」を応援することが日常に良い影響を与えていることが分かった。

「「推し」活だからこそ「推し」にお金を使う」という考えがある中で、お金を使わず「推し」を応援することができるようになってきている世の中だが、まだお金を払って「推し」のグッズを購入するのが主流となっている。

そして「推し」活における行動は自身がどのように「推し」をどのように意識しているのか、同じく「推し」活をしている他人に対しての行動によって影響することが多く、「推し」のグッズ購入など金銭に関連する行動を促進することになると考えられる。例えば SNS にて自分が他人に対して「推し」の魅力について語るることにより、他人に認められるようにする承認欲求のためグッズを購入することに繋がると考えた。

「推し」の属性に関してこれは自分自身がどのようなキャラクターまたは人物を好きになったこと、これについては私の経験上では「推し」のジャンルによって「推し」活の出

費に影響することもある、だが今回はこれについては言及しなかったが、大学生という属性の影響もあって「推し」活に費やす金額も先行研究と比べても少ないことが分かった。

大学生のアルバイト収入が年々上昇していることもあって、収入の利用方法にも変化していることもあって、どのように収入を利用するかは回答者自身の状況によって使い分けることがわかる。今回の調査では趣味や生活費が主な利用方法になっている結果になっているが、人によっては全て学費の支払いに当てることも珍しくない。これは「推し活」以上に自分の生活を維持するための収入の使い方にあると考えられる。

今回の調査では「推し」活によるアルバイトの意識の変化について見る事ができるが、「推し」活による人への影響に関連する研究が少ない状況の中で今後の調査に活かして行けたらと思う。

## 参考文献

株式会社マイナビ「大学生のアルバイト調査（2024年）」

[https://career-research.mynavi.jp/wp-content/uploads/2024/04/2024\\_daigaku-baito.pdf](https://career-research.mynavi.jp/wp-content/uploads/2024/04/2024_daigaku-baito.pdf)

（2024年9月16日最終閲覧）

独立行政法人日本学生支援機構 「令和4年度学生生活調査・高等専門学校生生活調査・専門学校生生活調査」

[https://www.jasso.go.jp/statistics/gakusei\\_chosa/\\_icsFiles/afieldfile/2024/03-35/data22\\_all.pdf](https://www.jasso.go.jp/statistics/gakusei_chosa/_icsFiles/afieldfile/2024/03-35/data22_all.pdf)

（2024年9月16日最終閲覧）

一般社団法人クチコミマーケティング協会（WOMJメソッド委員会）「推し」活についての意識調査」

[https://womj.jp/admin/wp-content/uploads/2023/04/release\\_230424.pdf](https://womj.jp/admin/wp-content/uploads/2023/04/release_230424.pdf)

（2024年9月16日最終閲覧）

株式会社ネオマーケティング「「推し」活に関する調査 2024年」

<https://prtmes.jp/main/html/rd/p/000000483.000003149.html>（2024年9月16日最終閲覧）

\*1 「Weblio 実用日本語表現辞典 「推し」の意味・解説」

<https://www.weblio.jp/content/%E6%8E%A8%E3%81%97>（2024年7月17日最終閲覧）

YouTube 【MV full】 チームB「推し」 / AKB48 [公式]

<https://www.youtube.com/watch?v=F1tXiUOIVZk>（2024年9月16日最終閲覧）

\*2 もったいない本舗 【「推し」とは】意味・語源・用語から関連作品まで徹底解説します！

<https://www.mottainaihonpo.com/kaitori/contents/cat07/080-oshitoha.html>

\*3 ニッセイ基礎研究所 生活研究部 研究員 廣瀬涼 「「推し活とお金の話ー癒し、マウンティング、投げ銭、ホスト、金融商品・・・」

<https://www.nli-research.co.jp/report/detail/id=78813?site=nli>（2025年1月13日最終閲覧）